	シーズ名	**離床監視システム**
	氏名・所属・役職	朴　勤植・医学研究科　医療安全管理学・准教授

＜概要＞

病院・介護施設などにおいて転倒転落事故は恒常的に発生し、重度の場合は死亡に至る医療事故である。種々の予防器具が開発されているが、ベッドから患者が離床するのを安価に容易に検知する仕組みを作成した。

仕様

・患者さんがベッドから離れようとするとナースコールで知らすことができる。
・現在使用しているナースコールに簡単に接続できる。

方法

・患者の衣服に一方の留め具を取り付け、本体をベッド策に固定する。
・本体からナースコールへのケーブルを接続する。
・患者が一定の距離の移動をすると本体が分離され、体動を検知しナースコールに情報を送る。

＜アピールポイント＞

この装置は安価で、容易である。
ただし、患者さんにとって少しの拘束感があるので、今後　画像処理などを応用して発展させたい。

＜利用・用途・応用分野＞

・患者転倒転落防止
・医療安全

＜関連する知的財産権・引用文献・学会発表など＞

1. 特許第 3931832 号 体動検知装置（出願日：2003.04.14）
2. 朴勤植，平井祐範，小野佐江子．転倒転落事例の分析と離床監視装置の開発および試用経験．医療マネジメント学会雑誌 4(3)，422-428，2003

＜関連するＵＲＬ＞

http://ocuqualityandsafety.jimdo.com/

＜他分野に求めるニーズ＞

なし

キーワード	医療安全、医療事故、転倒転落、離床監視システム